公益財団法人 とくしま産業振興機構

〔企業情報とくしま〕 Corporate information Tokushima

TOKUSHiMA

とくしまのがんばる企業を応援します

(公財)とくしま産業振興機構 ● www.our-think.or.jp

2025 November
No.508





徳島の企業

株式会社とくし丸 / 全国稼働台数約1,200台。おばあちゃんのコンシェルジュであり、地域の見守り隊。高齢者の食と命を守るとくし丸

Contents

徳島の企業…… 02
株式会社とくし丸
とくしま起業人 …… 04
◦ **Cafe Henim**
◦ **moku moku note Bakery & Cafe**
事業紹介…… 06
令和7年度頑張る中小企業大賞 受賞企業紹介
令和7年度あったかビジネス大賞 受賞企業紹介
社会保険労務士から一言 …… 08
最低賃金引上げに伴う国・徳島県の支援制度まとめ
「業務改善助成金」と「徳島県賃上げ応援サポート事業」ほか
ジェトロ寄稿記事 …… 10
2028年LA五輪での食文化体験と日本食市場への波及可能性(米国)
長久館セミナー一覧 …… 12
近日開催の長久館セミナー一覧
事業紹介…… 13
DXに挑む県内企業　千歳産業株式会社
賛助会員紹介…… 14
◦ **サン電子株式会社**
◦ **株式会社 アクト**
事業紹介…… 15
キャリア教育出前授業
会館だより …… 16
徳島県最低賃金更新と賃上げ支援策のお知らせ



Pick Up News

関連記事 P2

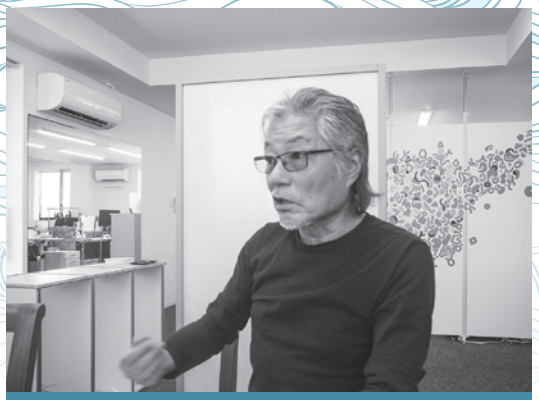
顧客のもとへ訪問する販売パートナーの事業効率化のためのアプリを開発

お客様と強い信頼関係で結ばれている販売パートナーを支援するための新たな取り組みも始まっている。それが販売パートナー向けのアプリの開発だ。販売パートナーはスマホにアプリをダウンロード。顧客の購入履歴や、注文品のメモ、訪問先のマップや、顧客の訪問先や、時間などを一元管理できる。



株式会社とくし丸

**食品とともに温もりや生きがいを届ける
移動スーパーとくし丸**


取締役ファウンダー　住友 達也 氏

―編集者から移動スーパーを創業

町を走っているのがすっかりおなじみとなったお肉やお野菜、調味料などの可愛いイラストが描かれたトラック。スーパーマーケットと連携して、生鮮食品を含んだ食料品や洗剤やトイレットペーパーなどの生活必需品をお客様のご自宅まで届ける移動スーパー『とくし丸』のトラックだ。2012年の1月に徳島県で産声をあげた『とくし丸』だが、現在は、北海道から沖縄まで全国47都道府県すべての県で稼働し、17万人を超えるお客様に利用いただいている。

―きっかけは母の言葉から

「僕ね。8年間遊んでいたんですよ。その時に聞いた母の言葉から、この事業を創業しました」というとくし丸の創業者　住友達也さん。住友さんといえば、徳島県内でいわずとしれたタウン誌『あわわ』の創業者。赤字を出すことなく2003年に『あわわ』をＭ＆Ａで売却し、その後しばらくは、仕事をリタイヤし、働くことなく暮らしていた。仕事は順調であったが、会社が大きくなることで様々なしがらみも増えてきて、心身ともに疲れてしまっていたという。

そんな頃、実家に帰り、母から友人たちが買い物に行くことができず困っているという話を聞く。今は当たり前のように聞くようになったが、買い物難民の人たちのお話だ。両親は、高齢ではあったが車の免許も持っており、買い物にも出かけてはいた。しかし、若い頃のように、駐車スペースに駐車するのも簡単にはいかない。また、荷物のあげおろしもままならない状態であった。

―買い物難民の生の声を聞く

その後、まさに買い物難民の現実を知ることとなる。母と母の友人を車に乗せて、スーパーに買い物に行った時、その友人が驚くほど大量の買い物をしていたのだ。理由を聞いてみると、「買い物できる時にしておかないと一人で買い物にいけないから」という。当時、まだ移動スーパーを標榜してビジネスをしているところもなかったことから住友さんは、「これはビジネスとしてなりうるのでは」と思ったという。何より世の中の社会問題を解決し、多くの買い物に悩む人たちを救うことができるのではと考えた。

思い立ったが吉日。住友さんは県内くまなく市場調査に出かけた。そこで様々な人に出会う。足が悪くて買い物にいけない。食事は宅配弁当のみ。1日1個の弁当を3回に分けて食べる。宅配弁当は一つの会社だと飽きてくるので、3ヶ月に1回会社を変える。住友さんは言う。「食べることは命の源。その食を選ぶことが、エンターテイメントなんです。それができないなら、こちらから出かけていこう。この人たちを救おう」と思いました。

―とくし丸の仕組みづくり

とくし丸が契約するのは、商品供給基地である地域のスーパー。そのスーパーととくし丸の車両一台につき、50万円の契約金と売上げに関係なく、毎月定額3万円のロイヤリティをいただく。とくし丸を運転するのは、とくし丸本部と契約したスーパーと販売の委託契約を結んだ個人事業主。とくし丸では『販売パートナー』と呼ぶ。毎週2回、決まったコースを巡回し、月・木、火・金、水・土、いずれかの曜日に契約したお客様のご自宅の前まで出かけていく。

当初、住友さんは3年間、給料はゼロ。創業丸1年で、やっと5台。今は、閉店してしまった徳島市内のスーパーの社長が賛同してくれ、契約を結んでくれた。2年で9台、3年で26台。毎月赤字の状態。でも、待ってくれる人がいる。喜んでくれる人がいる。そんな思いが自分を





支えて続けてこられた。

―20円ルールとは

このように、商品供給基地である地域のスーパー、販売パートナー、とくし丸本部三者の相互協力でなりたつとくし丸。ここに顧客の協力が加わったのが20円ルールだ。とくし丸で扱っているのは、多くが食料品や日用品。薄利のものが多いのは、周知の事実。そこで、お客様にそれぞれの商品代金に＋20円上乗せして、代金をいただく。一軒での買い物数は、8から10点。1日につき、160円から200円プラスとなる。これを地域スーパー、販売パートナー、本部で分配する。このルールを導入してからは、3者の収入が安定し、ビジネスが軌道に乗り始めた。

顧客からは、そのことで不満はでていない。むしろ、自身で買い物に行かないで、家の前まできてもらえる付加価値へのお支払いだと考えている。

―販売パートナーはお客様のコンシェルジュ

販売パートナーを選考する一番の基準が、自分の両親のもとに行ってもらっても安心な人かどうかということ。なによりも温もりを大切にしている。買いすぎ注意も大切なモットー。3日に一度は訪問しているため、まとめ買いの必要がない。前回購入したものをまた購入している人には、「まだ冷蔵庫に入っていませんか」と聞くことにしている。

顧客の中には、販売パートナーがくると、普段なかなか会うことのない離れた場所にいる自分の息子より、週に2回顔をあわせる販売パートナーを自分の家族のように信頼しているお客様もいる。例えば、「今晩のおかず何にしようか？」と販売パートナーに相談する。冷蔵庫の在庫や自分の食べ物の好み、すべてを知るのが、販売パートナーというわけだ。

また、各地方自治体と見守り協定を締結していて、地域の『見守り隊』として、重要な役割を果たしている。市役所の福祉部門や社会福祉事務所、ケアマネジャーなどと連携しており、顧客の変化を見逃さず、共有している。実際に病気の早期発見につながり、重篤化せず、とくし丸の顧客として元気に過ごしている方もいる。

とくし丸業務支援アプリ



―アプリを活用

このように、お客様と強い信頼関係で結ばれている販売パートナーを支援するための新たな取組みも始まっている。それが販売パートナー向けのアプリの開発だ。販売パートナーはスマホにアプリをダウンロード。顧客の購入履歴や、注文品のメモ、訪問先のマップや、顧客の訪問先や、時間などを一元管理できる。今まで、自分なりの工夫をして、これらを記録し、管理していた販売パートナーもいたが、時間も手間もかかる。このアプリによって、仕事も効率化されて、訪問準備にかかる時間も短縮された。

―人々に食と生きがいを届ける

全国稼働台数約1,200台。18万人を超えるお客様に3日もあれば、全員と顔をあわせるネットワークを確立した。それはとくし丸唯一無二のもの。創業当時から言い続けてきた『とくし丸はインフラでありメディア』という言葉は、現実のものになりつつある。

とくし丸を2016年にオイシックス・ラ・大地株式会社に売却した後も、住友さんはチャレンジを続けている。3年前からは、また雑誌をつくりはじめた。その名も『ぐ～す～月刊とくし丸』97歳の女性からも長いお便りが届く。表紙には、70代、80代、90代のホンネが満載！多くは投稿コーナーで、お料理自慢、子ども時代の思い出や写真、夫、妻との出会い、戦争体験など、読んでいて飽きることはない。

今は、簡単にSNSで自分をPRすることができる。しかしスマートフォンを使うことが難しい世代にとって、雑誌で自分の存在を知ってもらい、他者とつながることができるのは、大きな喜びになっている。「食事だけでなく、雑誌で生きがいや楽しさを知ってほしい。まだまだ全国の買い物難民を救うためには、とくし丸はまだ2,000台以上足りないし…」「そろそろゆっくり遊びたいですけどね」と言いつつ、その目はとくし丸の未来を見つめている。住友さんはまだまだ遊べそうにない。

（文責：ライター　川西 洋子）

Company Profile

会 社 名	▶株式会社とくし丸
所 在 地	▶徳島県徳島市南内町1丁目65-1 リバーフロント南内町3F
代 表 者	▶代表取締役会長　高島宏平 氏 代表取締役社長　新宮歩 氏
設　　立	▶平成24年1月11日
資 本 金	▶1,000万円
事業内容	▶移動スーパーマーケット、高齢者支援、雑誌企画制作
従業員数	▶50名
T　E　L	▶088-612-7028
U　R　L	▶https://www.tokushimaru.jp/

Interview

とくしま起業人



Cafe Henim（カフェ ヘニム）

代表者 重田 万理子

住所：三好郡東みよし町昼間1707-6　TEL：090-5919-3005　URL：https://www.instagram.com/cafehenim/

令和7年4月29日
オープン



●起業の経緯を教えてください

もともと「いつかカフェを経営してみたい」という思いがあり、大好きな韓国を訪れるたびに多様なカフェ文化に魅力を感じていました。一方、私の暮らす東みよし町には夜遅くまで営業するカフェがなく、友人と語り合ったり作業したりできる場所が限られています。若者がコンビニ駐車場で時間を過ごす姿も見られ、安心して集える場所を作りたいと考えました。また、少子高齢化が進む中で、高齢の方々が外出や交流を楽しめる場づくりにも貢献したいという想いから、世代を超えて人がつながるカフェの開業を決意しました。

●御社の主な事業内容を教えてください

韓国をコンセプトにした韓国カフェです。韓国のカフェでは定番のメニューから少し日本風にアレンジを加えたメニューを提供しています。

当店、ヘニムの代表メニューはピンス（韓国版かき氷）です。日本のかき氷とは全く違う新感覚のかき氷で見た目も味も楽しんでいただけます！次に人気なのは韓国発祥のパンスイーツのクロッフルです。アイスをトッピングしてお召し上がりいただくと最高です。

一部の商品を除いては、すべてテイクアウト可能。材料や食器など可能な限り本場韓国から仕入れています。

●起業して大変だったこと、良かったことはありますか？

毎日、今日もお客さん来てくれるかな…という不安と戦いながらの日々で、精神的にもちろんしんどいなと感じる時も多々ありますが、それでもご来店下さるお客様の「美味しかったよ！また来ます！」のお言葉がとっても嬉しく日々頑張れています。

オープン準備期間から今日まで、人と人の付き合いの大切さ、回りへの感謝の気持ちを日々強く感じながら1日1日来てくださるお客様に感謝しながら営業させてもらっています。

韓国に興味なかったけど行ってみたくなったや、韓国の話を色々聞けて良かったなどと言ったお声もいただく事もあり、私自身も、毎日出会う新たな出会いに楽しく、嬉しさを感じています。また、韓国に関してや、韓国カフェに興味をもってもらえることも喜びの一つになっています。

●起業を志す方にメッセージをお願いします

시작이 반이다！（シジャギバニダ）

直訳すると「始めたら半分だ」ですが日本語の「思い立ったが吉日」と似た意味を持ちます。私は、この言葉で動き出しました。

今、何かしたいと思っている方がいらっしゃったら、一歩踏み出してみてください。

もちろん、下調べや準備は大事です！でも、その下調べ、準備がもうスタートだと思います。私も、うじうじと考えて悩んで、なかなか踏み出せない性格ですが、たまには、思い切って一歩踏み出すと物事が動き出すと思います。失敗も経験になると思って私も、頑張っています。시작이 반이다！（シジャギバニダ）です。

Cafe Henim
カフェ ヘニム

@CAFEHENIM

創業コーディネーター／藤田梢より

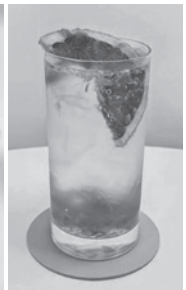
重田代表は、高校時代に韓国の文化に興味関心を持ち、独学で韓国語を学ばれたそうです。その後、現地韓国のカフェで修行をして、地元での開業の夢を叶えられました。

カフェのもう一つの役割として、「韓国アイドルや韓国コスメなどに興味のある小学生や中学生の子どもたちの新しい居場所となり、韓国カフェを通じて広い視野を持ち、田舎でも新しいことに挑戦することができることを伝えていきたい」と考えられています。これまで努力を重ねてこられた重田代表は、これからの地域活性にも必要な存在であると思います。

東みよし町で本格韓国かき氷ピンスが味わえます！新食感をぜひ体験ください！







Interview

とくしま起業人



moku moku note Bakery & Cafe

代表者 吉野 秀

住所：吉野川市美郷字大野97　Instagram：@mokumokunote

2021年9月25日 オープン



●起業の経緯を教えてください

まず軸としてあったのは、「何になりたいか」より「どう生きたいか」を考えていて、それを考えたとき、昔の人が自然の中で一生懸命汗を流して生きていた、そういう環境で「丁寧に暮らしたかった」というのがありました。最初は面白いモノづくりができれば、どんな職業でもいいと思っていたんです。ただやっぱり山暮らしというのを選んだ時に一番自分が楽しくワクワクしながら生きられる方法を考えた時に、自分の一番大好きなパンを、世界一のパンを作れたら面白いんじゃないかなと考えて、美郷の山奥の水や空気や景色に魅せられて、自分の手作りのお店で、手作りのパン屋を作ろうと開業しました。

●御社の主な事業内容を教えてください

自家製酵母パンの製造販売とカフェを運営しています。パン生地は自然なお塩と小麦と酵母とお水だけのシンプルな伝統的なものです。シンプルな伝統的なハードパンは菓子パンや総菜パンに比べて、日持ちします。時間がたっても味がおいしく保存がきくというのはハードパンの魅力です。

特徴は、この場所でしかないおいしい水と、自然な空気のなかで活性化した自家製酵母、そして薪窯で焼くことで、外はパリッと中はしっとり柔らかいパンになります。自分で言うのも何ですが、すごく丁寧なパン作りをして世界一のパンを目指しています。

販売は、徳島県内数ヶ所で販売したり全国へ通信販売をしています。週末は、徳島県内のマルシェに出店したり、様々なイベントにて声をかけてくださって販売しています。

●起業して大変だったこと、良かったことはありますか？

大変だったことは、素人の夫婦二人がすべて一からやっていくことに試行錯誤したことです。また、この店舗の場所だけでは売上が伸びないため、イベント出店に依存しているところです。子供が4人いることや奥さんは家のことをしてくれているので、自分一人で製造から販売・イベント出店を行うことは開業当初から大変でしたし今も大変です。

良かったことは、リピーターさんがついてくれて生涯食べたパンの中で一番おいしいと言ってくださることは一番うれしいですね。また、いいパン、一番おいしいパンが焼けた時がうれしいですね。自分のなかで100点満点が出るパンは一年に数回あるかないかなので焼けた時はすごくうれしいです。

●起業を志す方にメッセージをお願いします

どんなものでもチャレンジすれば面白いです。なにかビジョンがある場合はとにかく挑戦してみる。何でもやれるんじゃないかなという意志を持って、失敗も含めた自分らしさを進んでいくことも楽しいことだと思います。悩んでいる方は、是非チャレンジしてみて欲しいと思います。

@MOKUMOKUNOTE





●取材の感想

私は将来、創業支援を行う企業に就職したいと考えています。今回の取材では、吉野さんの強いこだわりや、どんなに難しいことにも挑戦する姿勢に心を打たれました。「自分らしく、失敗も含めてチャレンジする」という言葉が特に印象に残り、私もその言葉を大切にしながら、これからの働き方や生き方を考えて頑張っていきたいと思います。　（四国大学3年 松崎光佑）

創業コーディネーター／里見和彦より

吉野夫妻は、約15年前にこの美郷の風景に魅せられて愛知県から夫婦で移住してきました。パン屋を開業するためにコツコツ資金を貯め、2年間かけて自分の手で店舗を作ったりと、まさに「どう生きたいか」を具現化しています。面談中何度も、「丁寧なパン作り」という言葉が出て、素材を厳選するだけでなく水や空気までこだわり、丁寧に薪窯で焼いている姿を見ると、本当に世界一のパン作りを目指している姿に感動します。ぜひ、この山奥の場所に一度来て、吉野さんの作る姿を見てパンを味わってみてください。

令和７年度
「頑張る中小企業大賞」受賞企業紹介

徳島県頑張る中小企業大賞は、経営革新計画の承認を受けて成果をあげた企業や特徴的な新たな取組を実施し本県中小企業の模範となるような企業を顕彰する制度です。県内中小企業の経営革新を一層促進し、地域経済の活性化を図ることを目的に平成 22 年度に創設されています。

審査委員会での審議の結果、今年度は、最優秀賞として 2 社が選出され、ビジネスチャレンジメッセ TOKUSHIMA2025 内にて表彰されました。

頑張る中小企業大賞最優秀賞





西部木工

業　種：木材加工・製造業
所在地：阿南市那賀川町西原 10-1
代表者：西岡　章
テーマ：伝統的な日本建築の木組みを活かした家具「IGETA」シリーズの生産

内　容：職人の技術力を活かした商品作りを実施していきたいという思いから、木組みを活かした自社オリジナルブランド『IGETA』シリーズの生産を行う。





有限会社阿波食品

業　種：食品加工・卸売業
所在地：阿波市土成町土成字美緑 210-1
代表者：代表取締役 大塚 由香
テーマ：鶏肉のレトルト食品開発及び製造販売

内　容：鶏肉及びその加工品の一般的流通販売方法（チルド及び冷凍）とは異なる常温流通・保存可能な鶏肉レトルト食品を開発し、新規顧客の獲得を図る。

令和７年度
「あったかビジネス大賞」受賞企業紹介

　あったかビジネス大賞は、地域密着型の優れた創業計画を立てた「あったかビジネス事業計画」認定事業者の方々を支援するため、県民投票と専門家の評価で選ばれた特に優秀な事業者を顕彰する制度です。
　インターネット等による県民投票で多くの方々から寄せられた投票や、専門家による審査により、このたび「あったかビジネス特別賞」「あったかビジネスプラン優秀賞」「あったかビジネスプラン特別賞」それぞれの受賞者が以下のように決まりました。受賞者は、ビジネスチャレンジメッセ TOKUSHIMA2025 内にて表彰されました。
　またチャレンジメッセ内の創業者等出展支援ブースでは、受賞者を含めた 13 者と、徳島県頑張る中小企業大賞を受賞した 2 社が一堂に会し、新しいビジネスについて大いに PR するとともに、お互いの交流を深めました。

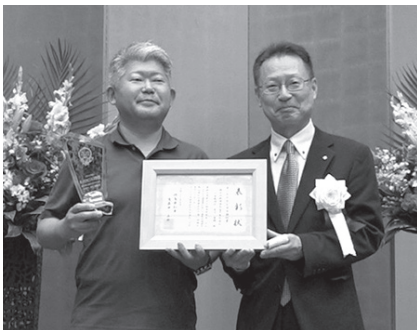


あったかビジネス特別賞

㈱四国の右下木の会社

代表取締役：吉田　基晴
所　在　地：美波町
　県南部の樵木(こりき)林業の活性化に取り組み、ウバメガシを活用した備長炭の製造・販売、およびそれを通じた新たな林業のビジネスモデル展開を目指しておられ、国内外から注目を集めています。





あったかビジネスプラン優秀賞

訪問美容リリー

代　表：木村早百合
所在地：美馬市
　県西部で外出困難な高齢者や要介護者のための訪問美容師事業を行っております。
　最近では不登校児童に悩む母親へのフォローなど、活動の幅を広げています。





あったかビジネスプラン特別賞

もやい舎

代　表：藤井　隆行
所在地：鳴門市
　鳴門のらっきょに惚れ込んで東京から移住し、らっきょ加工商品の企画・販売を行っています。県内のみならず首都圏や京都でも PR 活動を行い、鳴門らっきょの魅力を広めています。





社会保険労務士
から
一言

最低賃金引上げに伴う国・徳島県の支援制度まとめ

「業務改善助成金」と「徳島県賃上げ応援サポート事業」ほか



おかひろみ社労士事務所
社会保険労務士　岡　　宏美

令和８年１月１日から徳島県最低賃金は、現在の時間額 980 円より、66 円アップの時間額 1,046 円となります。最低賃金の引き上げにより影響を受ける中小企業の皆様に賃上げ支援パッケージ「業務改善助成金の変更点」と、「徳島県の支援策」をご紹介します。

業務効率化の設備投資を検討されている中小企業に、最低賃金の引き上げタイミングに合わせて「業務改善助成金」をご紹介

１．令和７年度　業務改善助成金　令和７年９月５日からの拡充について

業務改善助成金は事業場内最低賃金を引き上げ、設備投資等を行った中小企業に、その費用の一部（30 万円から 600 万円）を助成する制度です。令和７年９月５日から以下の変更がありました。

①対象事業場の拡大

〈現行〉	事業場内最低賃金と地域別最低賃金の差額が 50 円以内の事業所が対象
〈拡充〉	事業場内最低賃金が改定後の地域別最低賃金未満までの事業所が対象

徳島県では時給換算で 1,046 円未満の従業員がいれば対象となります。

②賃金引上げ後の申請

〈現行〉	賃金引上げ後の申請は不可。賃金を引き上げる前に賃金引上げ計画の提出・審査が必要
〈拡充〉	賃金引上げ計画の事前提出を省略可能

令和７年９月５日から令和７年度当該地域の最低賃金改定日の前日までに賃金の引き上げを実施していれば、賃金引上げ計画の提出は不要となりました。
※同期間以外の賃金引上げは対象とならないので注意が必要です。

交付申請書、事業実施計画（設備投資等の計画）、賃上げ結果を徳島労働局雇用環境・均等室に提出 ▶ 計画の審査・交付決定 ▶ 交付決定後に計画に基づく設備投資等を実施 ▶ 実績報告 ▶ 審査 ▶ 助成金の支払い

２．徳島県賃上げ応援サポート事業

①国の業務改善助成金の上乗せ助成

（※業務改善助成金を受給した事業者が対象）

実質負担なし!

設備投資額が助成上限額内の場合

国の助成率		県の助成率		国と県をあわせて
設備投資等に要した費用 × 4／5の場合	＋	設備投資等に要した費用 × 1／5	＝	設備投資等に要した費用 × 5／5
設備投資等に要した費用 × 3／4の場合	＋	設備投資等に要した費用 × 1／4	＝	設備投資等に要した費用 × 4／4

※設備投資が助成上限額を超える場合は、一部負担あり

〈対象要件〉
・徳島県内に事業所を有する中小・小規模事業者
・令和 6 年度又は令和 7 年度に業務改善助成金の交付申請を行い、令和 8 年 2 月 27 日までに額の確定通知を受けていることが要件となります。

②社会保険労務士へ申請を依頼した場合、社会保険労務士への報酬費用を補助

社会保険労務士への報酬費用に 1/2 をかけた額（上限 10 万円）を補助するものです。

〈申請方法〉
令和 8 年 3 月 2 日までに徳島県生活環境部労働雇用政策課に申請書類を提出する。

就業規則等の整備を通じて福利厚生を充実させ、働きやすい職場環境をつくる中小企業を支援する徳島県の制度を紹介

3. 徳島県 魅力ある職場づくり支援補助金

魅力ある職場づくりに向けた就業規則等の整備を支援するものです。

〈対　象〉
徳島県内に事業所を有する中小企業者等
〈補助額〉
最大 20 万円※原則補助対象経費総額の 1/2
〈補助対象経費〉
就業規則等の作成を依頼したことで発生した社会保険労務士の報酬に係る経費
〈申請受付期間〉
令和 7 年 12 月 19 日まで（電子申請、郵送、持参のいずれか）
〈申請の流れ〉
補助金申請書類一式を県に提出（令和 7 年 12 月 19 日まで）▶ 県の審査、交付決定 ▶ 補助事業の実施 ▶ 実績報告（令和 8 年 1 月 30 日まで）▶ 審査 ▶ 補助金振込
〈補助対象事業〉
※法令を上回る制度や法令で義務付けられていない制度の整備が対象

①～⑫のうち 2 つ以上取組みを行う場合に上限 20 万円（1 つの場合は最大 10 万円）まで補助されます。
①出産、育児、介護と両立を支援するための制度導入・見直し
②時間単位の年次有給休暇取得制度や積立休暇制度の導入
③テレワークの導入
④フレックスタイム制度や時差出勤、変形労働時間制など柔軟な働き方を実現する制度の導入
⑤年次有給休暇の計画的付与制度の導入
⑥リフレッシュ休暇や病気休暇、通院休暇、慶弔休暇などの特別休暇制度の導入
⑦住宅手当、通勤手当、食事手当等の諸手当や、人間ドック受診等への補助など制度の導入・見直し
⑧勤務間インターバル制度の導入
⑨年間休日の明記と日数の見直し、週休 3 日制導入
⑩正社員転換制度や高年齢者の再雇用制度、多様な正社員制度の導入
⑪社外副業、兼業の導入
⑫資格取得支援制度等の人材育成に資する制度導入

4. 最後に

国、徳島県、いずれの支援制度についても要綱、要件、申請書類等をホームページでご確認ください。申請に不安がある方はぜひ社会保険労務士のサポートをご活用ください。徳島働き方改革推進支援センターでは無料の支援を実施しておりますので、お気軽にご相談ください。

徳島働き方改革推進支援センター

〒 770-0865
徳島市南末広町 5 番 8-8 号
徳島経済産業会館 2 階徳島県社会保険労務士会内
電 話 番 号：0120-967-951
相談受付日：月曜～金曜
午前 9 時から午後 5 時まで
（※祝日を除く）



2028年 LA五輪での食文化体験と日本食市場への波及可能性（米国）

2028年に米国で開催が予定されているロサンゼルスオリンピック・パラリンピック（LA28、2028年LA五輪）に向け、現地では調達の動きが活発化するなど（2025年6月6日付ビジネス短信参照）、大会運営体制の整備が着実に進められている。食関連の運営では、選手・観客双方に対するサービスの質向上と効率化が期待されており、日系企業にとっても新たなビジネス機会となる可能性がある。

飲食提供体制の革新：選手村・観客向けサービス

LA28では、オンデマンド型の飲食提供サービスとして、ウーバーイーツ（Uber Eats）とのパートナーシップが発表されている（LA28ウェブサイト参照）。これにより、観客のみならず選手もスマートフォンなどを通じて飲食を注文でき、効率的かつ柔軟な飲食体験が可能となる。こうした取り組みは、大会期間中の革新的な体験の一環として位置づけられており、従来の選手村内での一括提供に比べて選手の食体験の選択肢が広がるとともに、地元飲食店への経済波及効果も期待される。こうした新たな飲食提供の仕組みは、現地の日本食レストランのビジネス展開や、日本産食材のさらなる普及につながる可能性がある。LA28とウーバーイーツのパートナーシップを活用するにあたり、日本食レストランや日本食材を扱う企業には、次のような取り組みが効果的だろう。まず、ウーバーイーツへの積極的な出店（店舗登録）を通じて、五輪期間中の需要増に対応し、広範な顧客層への認知拡大を図ることだ。また、ウーバーイーツでは環境配慮型の経営に力を入れている。サステナブルな包装材の使用などで、ウーバーイーツの利用者が、商品を受け入れやすくなる可能性がある。さらに、オリンピック期間中に合わせた限定メニューやキャンペーンの企画・展開により、日本食の魅力を効果的に発信し、ブランド認知の向上と販路拡大につなげることが期待できると考えられる。

UCLAによる選手村の食事提供

LA28では、カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）の食堂施設が、選手村の食事提供拠点として活用される予定だ〔カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）ウェブサイト参照〕。同大学は、日常的に1万5,500人の学生に食事を提供しており、サステナブルフード（注1）の導入など、環境配慮型の運営が高く評価されている〔カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）ウェブサイト参照〕。ランキング・レビューサイトを運営するニッチ（本社：ペンシルベニア州ピッツバーグ）による「大学学食ランキング」では、5年連続で全米1位を獲得している。多様性に富んだメニュー構成も特徴で、日本食も提供されている。LA28では、UCLAの食堂施設を既存インフラとして活用することで、コスト効率の高い運営が見込まれている。

観客向けの食文化体験：Cultural Olympiad

LA28 の開催と並行して、「文化オリンピアード（Cultural Olympiad、注 2）」が開催される予定だ（LA28 ウェブサイト参照）。現在、詳細な運営体制および企画内容は準備段階にあるが、前回のパリオリンピック・パラリンピックで、ロサンゼルス郡芸術文化局（LA County Department of Arts and Culture）はパリの複数の団体と協力し、フードテンプル・カリナリーフェスティバル（Food Temple Culinary Festival）という食の祭典に参加した。その中で、同局は以下のような料理関連イベントを実施した。

・健康志向・植物ベースの「ファーム・トゥー・テーブル」料理教室
・ロサンゼルスのファーマーズマーケットを再現

このイベントは、メキシコ、韓国、中国の影響を受けた料理も登場し、カリフォルニアの食の多様性を祝う内容となった。

ロサンゼルスは食文化の発信に積極的に取り組んでいる。特に食を通じて地域の多様性や持続可能性を表現する姿勢は、カリフォルニアの文化的特徴として国際的な文化交流の場で広く紹介されている。

今回の LA28 の文化オリンピアードも、ロサンゼルスの多様性を祝うことを目的の 1 つとしており、フェスティバルやポップアップ出店などを通じて、日本を含む様々な地域の食文化の魅力を発信する機会が提供される可能性が高い。ロサンゼルス郡芸術文化局から関連情報が随時公開されており（ロサンゼルス郡芸術文化局ウェブサイト参照）、今後の動向に注目が集まっている。

日系企業への示唆

ロサンゼルスがオリンピック・パラリンピックの開催地となることで、日本食市場のさらなる拡大が期待される。すでに同地域では日本食市場が大きく、世界中から集まる選手や観客に対して、日本食の魅力を直接伝える絶好の機会となる。特に、健康志向が高まる米国の消費者やアスリート層にとって、日本食は栄養バランスの観点から親しまれている食材であり、今後のビジネス展開において大きな可能性を秘めている。LA28 を契機に、日系企業が現地パートナーと連携し、ブランド認知の向上や販路拡大を図ることは、米国市場での持続可能な事業展開に向けた有効な手段だ。

注 1：環境や社会、そして生産者にも配慮し、長期的に持続可能な食料生産や消費を目指す食品、食材。
注 2：スポーツの精神を芸術、建築、音楽、絵画などを通じて表現する催しとして、各オリンピックで開催されている文化的イベント。

■執筆者紹介



ジェトロ・ロサンゼルス事務所
新井 美乃（あらい よしの）

2025 年 7 月から、ジェトロ・ロサンゼルス事務所で米国輸出支援プラットフォーム事業を担当。

■執筆者紹介



ジェトロ・ロサンゼルス事務所
米国輸出支援プラットフォーム担当
ディレクター（執筆当時）
木村 恒太（きむら こうた）

2010 年 4 月 農林水産省 入省
2018 年 5 月 在ロサンゼルス総領事館 副領事（食産業担当）
2021 年 6 月 農林水産省
2022 年 8 月から 2025 年 8 月までロサンゼルス事務所に在籍

近日開催の長久館セミナー 一覧

セミナー名	開催日時	場　所	概　要	受講料
起業力養成講座 （オンライン）	オンデマンド 申請は 随時受付	オンライン	実業家やベンチャー起業家、銀行員、中小企業診断士といった各分野の専門家が創業に必要な基礎知識を解説します。	**2,000円**
創業者 ステップアップ セミナー	12月4日	ホテル グランドパレス3階	創業者・既存経営者・地域支援機関が一堂に会して徳島での新たなビジネスを考え、交流するセミナーで、今年で10回目の開催になります。 今年のテーマは「移住×創業」。地域おこし協力隊での活動を通じて徳島で創業した方々を講師として招き、その活動のエピソードを交えながらこれからのビジネスについて一緒に考えます。 セミナー終了後は、参加者同士で飲食しながら親睦を深める交流会も行いますので、ぜひ御参加ください。	**無 料** 交流会のみ軽食費 **2,000円/人**
IT導入補助金 活用セミナー	12月9日	とくしま 産業振興機構、 オンライン	1月7日が今年度最終締切となるIT導入補助金です。この機会を逃さず申請しませんか。発注・仕入・買掛・支払管理、出退勤申請管理、シフト作成、在庫・納品・配送管理・生産管理・品質管理、ケアプラン作成、登記書類作成など様々なITツールの活用で労働生産性は劇的に向上します。事業所様の解決したいことを明確にし、適したITツール導入を実現するため、成功事例を参考に、ITツールの選定から補助金申請までを丁寧に支援します。	**無 料**
デジタルマーケティング 体感セミナー ～上げる阿呆に 観る阿呆。 同じ阿呆なら 上げなきゃ損々～	12月24日 10回シリーズ 7回目 （毎月1回）	とくしま 産業振興機構、 オンライン	YouTube、Instagram、X、TikTokなどのSNS上の情報や、ChatGPT、Copilotなどの生成AIが出力する情報を観ることに多くの時間を費やしていませんか？最近は生成AIの活用で情報発信の敷居がグッと下がっています。上げる（Upload）側に立って、積極的な情報発信にチャレンジしませんか。7回目となる今回は「X」。引き続き、2026年 1/21、2/25、3/25に実施。随時募集。	**無 料**



メールマガジンのご案内

とくしま産業振興機構では、開催するセミナーのご案内などを掲載した「メールマガジン」を発行しています。

次のQRコード先よりお申し込みいただけましたら、ご登録情報へ開催セミナーのご案内をさせていただきます。

皆様のお申し込みをお待ちしています。

お申し込みはこちら➡

事業紹介

DXに挑む県内企業

お問い合わせ先
とくしまDX推進センター（とくしま産業振興機構内）
〒770-8570 徳島県徳島市南末広町 5-8-8
徳島経済産業会館 2階
電 話／088-654-0102
E-mail／tokushima-dx@our-think.or.jp
DX・デジタル化相談フォーム

生産管理システムの導入で、“経験”と“勘”から脱却

千歳産業株式会社

業　　種　機械器具製造業
取り組みテーマ　生産管理システムの導入、属人化からの脱却
活用した支援　令和５年度 生産性革命投資促進事業費補助事業

Before/取組み前の課題

- 生産計画をExcelで作成しており、ベテラン従業員の経験と勘に依存し属人化していた。
- 作業日報は毎日手書きで作成し、翌日に別担当者が販売管理システムへ手入力していた。
- 工程の進捗把握が不十分で、取引先からの納期問い合わせに即答できなかった。
- 紙ベースのアナログ管理により、生産工程の把握や原価計算に膨大な時間と労力がかかっていた。

After/取組みによる効果

- 生産スケジュールの作成時間が年間最大720時間削減される見込みとなった。
- 作業日報の手書きおよび手入力作業がなくなり、関連する工数を大幅に削減できた。
- スケジュール作成業務が標準化され、特定の作業者への属人化が解消された。
- 創出された時間を新たな見積り作業や組付作業に充当でき、受注量の増加が期待できる。

◆ “手書き” と “Excel” のアナログな生産管理が課題

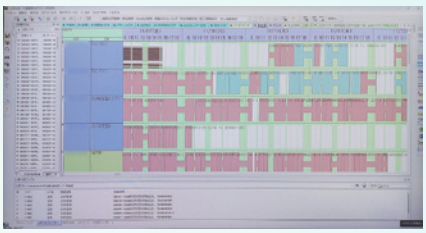
徳島県小松島市で、各種機械や搬送ライン等の設計･製作を手掛ける千歳産業株式会社。同社では、生産する製品が量産品ではなく一点ものの受注品であるにもかかわらず、その生産管理は創業以来、紙と手作業が中心だった。特に、生産スケジュールは40年以上の勤続者がExcelへ入力しており、毎日の更新作業が大きな負担となっていたうえ、業務が特定の担当者に依存する「属人化」が進んでいた。

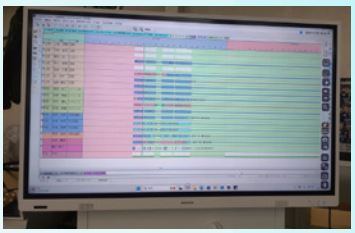
また、現場では作業員が毎日「作業日報」を手書きで記入し、翌日それを事務担当者が販売管理システムへ手入力するという二重の手間が発生していた。これにより、リアルタイムな進捗把握が難しく、取引先からの納期確認に即答できないなど、顧客対応にも影響が出ていた。

◆ スケジューラーとiPad導入で「見える化」と「標準化」を実現

これらの課題を抜本的に解決するため、同社は生産管理スケジューラー「FLEXSCHE」の導入を決定した。これにより、これまでExcelで手動作成していた加工スケジュールをシステムによる自動作成に切り替えた。

同時に、作業員全員にiPadを支給。作業員はiPad上のアプリケーションから作業の開始や終了を直接入力するだけでよく、手書きの日報作成が不要になった。入力された実績データは、改修した販売管理システムへ自動集計される。さらに、工場内に無線LAN環境とインフォメーションディスプレイを整備し、加工予定や進捗状況をリアルタイムで「見える化」した。







◆ 年間1000時間以上の工数削減効果を見込み、高付加価値業務へシフト

システム導入の効果は劇的だった。「FLEXSCHE」により、Excelでのスケジュール作成にかかっていた時間が1日あたり2～3時間削減されており、年間では480時間から720時間の削減が期待される。また、日報の電子化により、作業員の手書き時間（一人あたり年間120時間）と、事務担当者の手入力時間（年間240時間）も削減された。

最大の成果は、ベテランの経験と勘に頼っていたスケジュール作成業務が標準化され、属人化から脱却できたことだ。これにより生まれた時間的余裕を、担当者は新たな受注のための見積り作業や、部品の組み立て作業といった、より付加価値の高い業務に充てることが可能になり、将来的な受注量の増加を見込んでいる。

◆ リアルタイムな負荷状況を強みに、新規受注拡大へ

今後は、まず社内でシステムの操作に関する勉強会を開き、全従業員がスムーズに使いこなせるよう習熟度を高めていく。また、システムメンテナンス業務が特定の担当者に集中しないよう、マニュアル作成も進めている。

今回のDXにより、取引先から期待されるコスト削減や特急部品への対応力も強化された。今後は、リアルタイムに社内の負荷状況を把握できるという強みを活かし、既存取引先の期待に応えつつ、これまで対応が難しかった新規分野の取引先開拓を積極的に進め、さらなる売上拡大を目指す。

会社概要

会社名：千歳産業株式会社

所在地：徳島県小松島市中田町字新開29-2
代表者：代表取締役社長　佐々木 哲也
設　立：昭和42年6月1日
資本金：2,000万円
事業内容：各種機械や搬送ライン等の設計･制作と機械工具販売
ＴＥＬ：0885-33-2733
ＵＲＬ：https://chitose-net.co.jp/

賛助会員紹介

INTRODUCING
SUPPORTING
MEMBERS

当機構の賛助会員企業をご紹介します。
事業コラボや提携等、ぜひお考えください。
また、賛助会員は年1回事業に関する広報を
当誌に同封できます。
活用したい方は当機構にご連絡ください。

サン電子株式会社

会社概要

設　　立　2023年6月
資 本 金　100万円
従業員数　3名
事業内容　LED照明器具の設計・製造・販売





会社の商品の特徴や強み

当社は、前身のサン電子工業（株）LED照明事業（高天井大型照明）を継承し17年の実績と品質重視でモノづくりをしてきました。
特に、プール仕様（塩素対応）、クレーン仕様（耐振動・耐衝撃対応）、超低温仕様（-60℃対応）、高温仕様（100℃対応）など特殊環境仕様が当社の強みです。

今後の展開

高温仕様（100℃）では、大手製鉄所で試験設置して頂いています。
今後も、特殊環境仕様の販売、カスタム対応等、お客様の要望にお応えできるように研究、開発してまいります。

連絡先

連　絡　先：090-1001-5351（板東携帯）
代　表　者：代表取締役 板東 孝之
住　　所：板野郡上板町七條字西池ノ方10-4
電　　話：088-679-8533　ホームページ：https://sund.co.jp/

株式会社 アクト

会社概要

環境改善資材の開発・製造・販売を行っている会社です。環境に対する規制が進む中、特に「廃液・汚水の浄化」に力を入れて取り組んでいます。主な商品に「無機系凝集剤『水夢』」と「アルカリ中和剤『融夢』」があります。廃液処理にお困りの企業様へ商品サンプルの無償提供や無償実験を行う等のサービスも行っております。





会社の商品の特徴や強み

弊社製凝集剤「水夢」は天然鉱物等の環境に優しい材料で作られており、県での工事や福島県の除染事業にも採択されています。「水夢」を使うと廃液を汚濁部分と水に分離でき、産廃業者に委託するよりも安価に廃液処理を行えます。他社凝集剤と比較すると、品番の豊富さ・凝集物の脱水性・pH調整の容易さの面で優れています。

今後の展開

現在広く使用されている有機溶剤系塗料はVOC（揮発性有機化合物）を含んでいるため、大気汚染の面から世界的に使用規制が進んでいます。そこで推奨されるのが水溶性塗料の使用ですが、有機溶剤系塗料に比べ水溶性塗料は処理が難しく、処理方法の確立が急務です。その点で「水夢」には大きな需要が待っていると考えられます。

連絡先

代　表　者：伊勢 裕樹
住　　所：徳島県吉野川市鴨島町上下島66-3
電　　話：0883-24-8887
ホームページ：https://www.act-yume.jp

キャリア教育出前授業

実施企業・団体等を募集中

地域DX推進部

詳しくは
右記のQRコードから
（地域DX推進部HP）

学校現場でのキャリア教育の重要性が増している中、とくしま産業振興機構 地域 DX 推進部では、県内の学校において出前授業を行ってもらえる企業・団体等を募り、希望のあった学校とマッチングさせる事業を行っています。
今回はキャリア相談室 合同会社 manimani【講師：瀬尾様、白川様】にご協力いただいた、9 月 11 日（木）の三好市立芝生小学校【対象：6 年生児童】でのキャリア教育出前授業についてご紹介いたします。

前半は「自分の良さと仕事（職業）とのつながり」についての学習です。仕事には「現実的」「研究的」等の6つのタイプがあることを学び、そのタイプを運動会の役割に当てはめて、自分のタイプや良さを探る活動をしました。やってみたい運動会の役割（タイプ）を順位付けして、自分に向いていそうなタイプについて考えました。また、グループの中で相手のタイプや良さについても互いに考え、伝え合いました。児童の皆さんからは「○○さんは運動が得意やから『現実的』が向いてると思う。」「自分で考えていたタイプとよく似てる!」等の声が聞かれました。意見交換を通じて、自分のタイプや良さを確認したり、友達から見える新たな自分のタイプや良さを発見したりすることができ、どのような仕事とつながりがあるかを知ることもできました。

後半は「『おにぎりを食べる』について考える」学習です。「好きなおにぎりの具は?」と尋ねると、さまざま思いつく身近な存在ですが、それに関わる仕事にどのようなものがあるのかを考えました。「コンビニで買うには作る人だけでなくて、運ぶ人もいないと。」「栄養のことを考えている人もいるかも。」「機械を使うから、それを作る人も関わっているよ。」等、理由も添えて多くの意見が出ました。学習を通して世の中にはさまざまな仕事があること、それらの仕事によって社会が成り立っていることに気づくことができました。

授業の最後に、瀬尾様から「自分の見えるモノ・コトを意識してみることが、自分の未来につながります。」とお話しされました。自分の将来について、さまざまな視点から考えることができた授業でした。



授業実施企業にお聞きしました

○出前授業の事業に参加した動機について

弊社は「幸せに生きる人を増やす」ことを目指して活動しています。
変化の激しい現代社会において、自分らしさを発揮して生きる力は、学校生活の中で育まれると考えています。だからこそ、まだまだ可能性を秘めたこどもたちに、自分のことを好きであり続けてほしい。自分の人生を、自分の足で歩んでほしい。そんな願いから、キャリア教育出前授業へ携わりたいと考え、参加を決めました。

○出前授業の実施を通じて、思ったことや感じたこと

授業を通じて、こどもたちの柔軟な発想や純粋な視点に驚かされ、未来への希望を感じています。
問いかけ一つで広がる多様な世界観に触れるたび、ワクワクさせてもらっています。また、今のこどもたちがどのような教育を受け、どのような力を育んでいるのかを知ることは、働きやすさと働きがいを企業に提供する弊社にとって、今後の人材育成・人材開発の提案に大きなヒントとなっています。こどもたちの声から未来の人材像を感じ取れる、非常に価値ある機会です。

○子どもたちに伝えたいことや期待すること

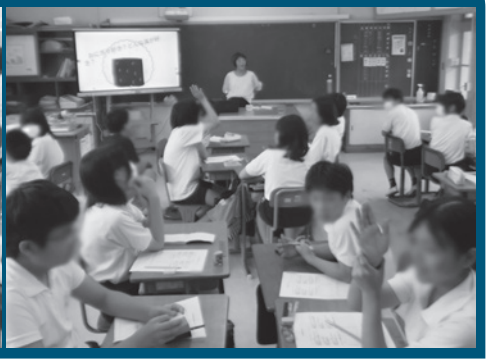
私たちは、こどもたちが将来社会に出て、何かの役割を担う日が必ず来ると考えています。その役割が何かは、今は分からなくても、自分の「いいところ」も「そうじゃないところ」も、誰かの役に立つ可能性があることを伝えたいです。今できないことや知らないことも、きっとその時までにできるようになるし、分かるようになります。だからこそ、自分自身をまるごと肯定し、自分のことを好きでいてほしい――　そんなメッセージを、授業を通じて届けています。

キャリア相談室 合同会社manimani様、
ご協力いただきありがとうございました。

出前授業の様子







企業情報とくしま
11月号 No508 令和7年11月1日
2025.11 No.508

徳島県最低賃金更新と賃上げ支援策のお知らせ

ちゃんとチェック!

最低賃金



働く人も、雇う人も、確認を忘れずに

厚生労働省
ひと、くらし、みらいのために
Ministry of Health, Labour and Welfare

徳島県 最低賃金

令和8年1月1日から時間額

1,046円

前年比 66円 UP

最低賃金とは、働くすべての人に賃金の最低額を保障する制度です。

WEBで確認!
最低賃金に関する特設サイト
最低賃金　特設サイト　検索

最低賃金に関するお問い合わせは徳島労働局または最寄りの労働基準監督署へ
徳島労働局　検索

賃金引上げ特設ページ
賃金引上げに向けた支援策等を掲載しています。
賃金引上げ特設ページ　検索

中小企業事業者の皆さんへ

業務改善助成金
最大600万円を助成



事業主の皆さまの賃上げを支援!

賃上げ 支援助成金パッケージ

厚生労働省・中小企業庁では、最低賃金引上げに伴う支援・後押しを強化しています。また、徳島労働局では、賃金引上げに関する各種助成金等の支援施策を取りまとめたリーフレット集を作成しています。積極的にご活用いただけますと幸いです。
具体的な情報についてはホームページ等でご確認ください。

厚生労働省ＨＰ　徳島労働局ＨＰ

<その他関係機関の賃上げに資する情報も掲載しています!>

①徳島県賃上げ応援サポート事業
088-621-2346
（徳島県生活環境部労働雇用政策課）
「業務改善助成金」の上乗せ助成。
国と県をあわせて事業者の実質負担なし!
（上限額内に限る）社労士の助成金申請支援に対する報酬費用も一部補助。

②労務費転嫁円滑化の取組
087-811-1750
労務費転嫁指針を知っていた方が、労務費の上昇を理由とする取引価格の引上げが実現しやすい傾向～まずは、労務費転嫁指針を知ることからはじめよう!

<働き方改革や経営改善に向けた相談先>

①徳島働き方改革推進支援センター
0120-967-951
相談支援
コンサルティング
セミナー開催

②徳島県よろず支援拠点
088-676-4625
売上拡大支援
経営改善支援
ワンストップサービス

～賃金引上げ特設ページを公開中～

この特設ページには、賃金引上げを実施した企業の取組事例や、各地域における平均的な賃金額が分かる検索機能など、賃金引上げのために参考となる情報を掲載しています。
賃金引上げを検討される際に、是非ご利用下さい!

詳しくは賃金引上げ特設ページをチェックしてね。
https://www.saiteichingin.mhlw.go.jp/chingin



お知らせ　来月号は、四国四県合同商談会の開催について報告します。

発行所：公益財団法人とくしま産業振興機構 経営支援部
〒770-0865 徳島市南末広町5番8-8 徳島経済産業会館 2階
TEL.088-654-0101(代) FAX.088-653-7910 E-mail:jouhou@our-think.or.jp
印刷所／協業組合徳島印刷センター
徳島市問屋町165 TEL.088-625-0135